

# 選 択 問 題 紙

法 学 部 1 ・ 2 部

人文学部 1 ・ 2 部（日本文化学科）

2023 年 2 月 12 日

10：00 ～ 11：00（60分）

## 注 意 事 項

—— 注意事項は裏表紙にもある。問題紙を裏返して必ず読むこと。 ——

1. 解答用紙は問題紙の中に折り込まれている。

問題のページと解答用紙の色を下表で確認すること。

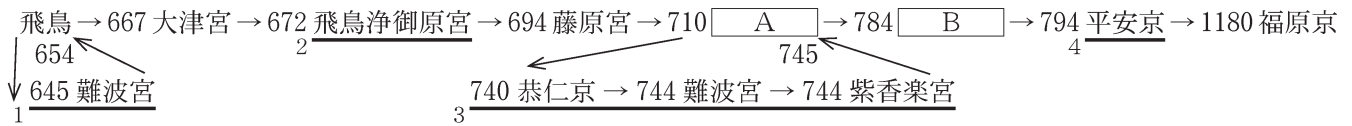
| 選択問題    | ページ     | 解答用紙 |
|---------|---------|------|
| 日 本 史 B | 2 ～ 8   | 水 色  |
| 世 界 史 B | 10 ～ 17 | 緑 色  |
| 地 理 B   | 18 ～ 26 | 紫 色  |
| 政 治・経 済 | 28 ～ 35 | 桃 色  |

2. 解答用紙は 1 枚だけ提出すること。2 枚以上提出した場合にはすべて無効となる。
3. 解答はすべて解答用紙の指定された欄に記入すること。
4. 試験開始の合図があるまで問題紙を開いてはいけない。  
試験終了まで退室してはいけない。
5. 受験番号の記入については裏表紙を参照すること。

## 日本史 B

1

下図は、宮都の変遷を年代とともに示したものである。この図に関する下記の問に答えなさい。なお、問 5 を除き、下線部と問いの番号は対応している。



問 1 ここで、公地公民制の確立、軍事・交通制度の整備、班田収授法の施行、新税制の実施などを目標にした政策方針が示されたという。この詔を何というか、2 字で答えなさい。

問 2 天武天皇は、国家体制の充実をはかり、錢貨の鑄造をおこなった。この錢貨を何と呼ぶか答えなさい。

問 3

(1) 疫病の流行や政情不安のなかで、恭仁京・難波宮・紫香楽宮と都を移した天皇名を答えなさい。

(2) 政情不安の一因となった740年に九州で生じた事件を下から選び、記号で答えなさい。

ア. 長屋王の変 イ. 藤原仲麻呂の乱 ウ. 藤原広嗣の乱 エ. 橘奈良麻呂の変

(3) 仏教の力を借りて国家が安定するように、741年と743年に相次いで詔が出された。743年に出されたのは大仏造立の詔であるが、741年に出された詔は何か、5 字で答えなさい。

問 4

(1) ここで桓武天皇は、国家財政の負担となっていた平安京の造営の他、もう1つの事業を中止させた。その事業を下から選び、記号で答えなさい。

ア. 公営田の設置 イ. 勘解由使の設置 ウ. 健児の採用 エ. 蝦夷との戦争

(2) 842年に藤原良房が、藤原氏の中の北家の優位を確立した事件名を下から選び、記号で答えなさい。

ア. 薬子の変 イ. 承和の変 ウ. 応天門の変 エ. 安和の変

問 5 A と B にあてはまる宮都名を答えなさい。

2

次の文を読み下記の問いに答えなさい。なお、問7、8を除き、下線部と問の番号は対応している。また、設問の都合上、本文には明らかに誤って用いられている語句が1つ含まれている。

日本と元の間には正式な国交はなく、<sup>1</sup>寺院建立の資金調達のために派遣された船などの私的な商船の往來にとどまっていた。その後、1368年に建国された明の呼びかけに応じて、<sup>2</sup>( )は明との国交を開き、<sup>3</sup>日明貿易を開始した。すなわち、<sup>2</sup>( )は、明徳の乱で山名氏清、( A )で大内義弘などの有力守護を滅ぼして、守護の勢力を削減する一方で、明皇帝から日本統治者として認められることで権威の高揚をはかった。この貿易における明宛の国書には「日本准三后某、書を大明皇帝陛下にたてまつる。(略)好を通じて方物を献ず」(『善隣国宝記』)と記されていた。

これは、日明貿易が<sup>4</sup>( )体制に基づいていたことを意味する。<sup>4</sup>( )とは、前近代において中国皇帝は周辺諸国の首長に対し、冊書・称号を授けて国王などに任命し、封土を与えて臣属させることである。<sup>5</sup>臣属した首長は中国皇帝に対して土産物を献上して、臣下としての礼を尽くし、それに対して中国皇帝は多くの返礼物を与え、首長の支配を保証するというものであった。このように日明貿易では、貿易時の滞在費・運搬費を明が持つため、日本は貿易を通じて莫大な利益を得ることができた。また、日本からの貿易船については明から交付された朱印状と呼ばれる証票を持参することが義務づけられた。

四代将軍義持はこの貿易形態を屈辱的なものとし日明貿易を一時中断したが、六代将軍義教の代に日明貿易は再開された。幕府の衰退に伴い日明貿易の実権を得ようとしたのは大内氏と細川氏であった。大内氏は<sup>6</sup>博多商人、細川氏は堺商人と手を結んだ。大内氏は( B )で細川氏に勝ち、日明貿易を独占していった。

問1 これら寺院のうち、足利尊氏と直義が後醍醐天皇の冥福を祈るために建立した寺院を下から選び、記号で答えなさい。

ア. 建長寺    イ. 大覚寺    ウ. 天龍寺    エ. 建仁寺

問2 空欄に当てはまる人物名を答えなさい。

問3 この貿易の日本からの輸出品を下から選び、記号で答えなさい。

ア. 屏風    イ. 陶磁器    ウ. 生糸    エ. 銅銭

問4 空欄に当てはまる語句を答えなさい。

問5 この貿易形態を答えなさい。

問6 この都市は12人の豪商の合議で市政が運営されていた。この豪商達を何と呼ぶか下から選び、記号で答えなさい。

ア. 若年寄    イ. 十人組    ウ. 会合衆    エ. 年行司



問 7 空欄 A, B に当てはまる争乱をそれぞれ下から選び, 記号で答えなさい。

ア. 正中の変    イ. 応永の乱    ウ. 応永の外寇    エ. 享徳の乱    オ. 嘉吉の変  
カ. 永享の乱    キ. 応仁の乱    ク. 寧波の乱    ケ. 三浦の乱

問 8 本文において, 明らかに間違っている語句が 1 つある。その語句を指摘し, 修正しなさい。

3

次の文を読み、下記の問に答えなさい。なお、下線部と問の番号は対応している。

廃藩置県後、明治政府にとって地方統治は大きな課題となった。とくに、1873年に各地で徴兵制度<sup>1</sup>や学制<sup>2</sup>による小学校設置の負担増加などに反対する農民一揆が増加し、さらに同年より始まった地租改正事業による高負担への反発から、大規模な地租改正反対一揆<sup>3</sup>が起これと、統一的な地方制度の整備が急務となった。しかも政府は、折からの土族による武力蜂起<sup>4</sup>や自由民権運動にも対処する必要に迫られていた。

そのため政府は、農民一揆や土族反乱を鎮圧すると、1878年に民意をある程度組み入れられる地方三新法<sup>5</sup>を制定し、自由民権運動の高まりを抑えようとした。さらに、明治十四年の政変後には、憲法制定に着手することでこの運動に対抗しつつ、ドイツ人顧問<sup>6</sup>の助言のもと、山県有朋を中心に地方制度改革を進め、1888年に市制・町村制を、<sup>7</sup>1890年には府県制・（ ）制を相次いで公布した。この結果、政府の強い統制のもとではあるものの、地域有力者を担い手とする地方自治制が確立した。

こうして再編された地方は、1880年代後半からはじまった産業革命において、重要な役割を担った。たとえば、外貨獲得を支えた製糸業<sup>8</sup>は、都市を中心とする紡績業に対して農村地帯に立地し、これにともない原料の繭を供給する養蚕農家も増加した。しかし、日露戦争後になると、地租や間接税の負担増から農村の困窮が深刻化したため、政府も対応<sup>9</sup>を迫られることとなった。

問1 これに関して、1872年に出され、「血税」の語が使われた太政官布告の名称を答えなさい。

問2 この学校制度は主にどこの国を参考にしたか、下から選び、記号で答えなさい。

ア. アメリカ    イ. イギリス    ウ. フランス    エ. オランダ

問3 これに対して明治政府は、1877年に減租を余儀なくされた。減租された後の税率は地価の何%となったか、下から選び、記号で答えなさい。

ア. 1%    イ. 1.5%    ウ. 2%    エ. 2.5%

問4 このうち、1874年に江藤新平らを中心として起こった土族反乱の名称を答えなさい。

問5 次のうち、地方三新法ではないものを下から選び、記号で答えなさい。

ア. 大区小区制    イ. 郡区町村編制法    ウ. 府県会規則    エ. 地方税規則

問6 1886年に来日し、地方制度成立に尽力したこの顧問の名前を下から選び、記号で答えなさい。

ア. グナイスト    イ. シュタイン    ウ. モッセ    エ. ロエスエル

問7 空欄に当てはまる語句を答えなさい。



問 8 製糸業とその関連産業について述べた次の文のうち、誤っているものを下から選び、記号で答えなさい。

- ア. 器械製糸は、日清戦争後には座繰製糸の生産量を上回るようになった。
- イ. 幕末以来、米国向けであった生糸輸出は、日露戦争後、欧州向け中心に拡大した。
- ウ. 生糸を原料とする絹織物業でも、北陸地方中心に輸出向け羽二重生産が発展した。
- エ. 生糸輸出拡大により1909年には清国を追いこして、世界最大の生糸輸出国となった。

問 9 この対応として、第2次桂内閣のもとで、1909年より内務省中心に推進された運動を何というか、名称を答えなさい。

4

次の文章を読んで下記の問いに答えなさい。なお、下線部と問いの番号は一致している。

清浦奎吾<sup>1</sup>内閣の総辞職後、1924年の第1次加藤高明<sup>2</sup>内閣の成立から始まる政党<sup>3</sup>内閣の時代は8年間しか続かなかった。最後の政党<sup>4</sup>内閣が崩壊して後は、政党の影響力は次第に小さくなり、軍部の影響を強く受けることになった。さらに、ナチ党やファシスト党にならって強力な大衆組織を基盤とする一大指導政党の樹立を目指した「革新」運動<sup>5</sup>を通じて大政翼賛会が結成された。この運動の下で既成政党は解散を余儀なくされた。東条英機内閣が実施した1942年の総選挙は翼賛選挙と呼ばれ、政府の援助を受けた推薦候補が絶対多数を獲得し、戦争翼賛体制が確立された。

終戦後、民主化政策がつぎつぎに実施される中で、各政党も相次いで復活ないし結成された。1945年10月には、GHQの指令で出獄した徳田球一<sup>6</sup>らの政党が合法的に活動を開始し、11月には日本社会党、翼賛選挙時の非推薦議員を中心に結成された日本自由党、翼賛体制期に大日本政治会に属していた議員が中心の日本進歩党が結成された。しかしながら、1946年のGHQの公職追放指令<sup>7</sup>により、翼賛選挙の推薦議員がすべて失格されたため、政界は大混乱に陥った。

1946年に戦後初の総選挙の結果、日本自由党を第一党として（<sup>8</sup> ）が内閣を組織した。しかしながら、戦後の混乱からくる国民生活の危機は、同内閣の打倒を目指した大衆運動を高揚させた。その後、1947年4月の総選挙では日本社会党・民主党・国民協同党の3党の連立政権が発足した。しかしながら連立ゆえの政策の調整に苦しみ、翌年2月に総辞職した。続く内閣も、同じ3党連立で民主党総裁を首相に組織されたが、<sup>9</sup> 疑獄事件で退陣した。

問1 この内閣は、貴族院の勢力を基礎とし、政党と無関係に組閣されたためどのような内閣と称されたか。2字で答えなさい。

問2 この内閣について述べた文のうち、誤っているものを下から選び、記号で答えなさい。

- ア. 憲政会・立憲政友会・革新倶楽部の3党の連立内閣であった。
- イ. この内閣の首相は、明治憲法下で総選挙の結果によって首相となった唯一の例である。
- ウ. 幣原外相による協調外交を基本とした。
- エ. 治安維持法を成立させた。
- オ. 直接税15円以上の納税者に全て選挙権を与えるよう選挙法を改正した。

問3 二大政党の総裁が交代で内閣を組織する慣例は当時何と呼ばれていたか、答えなさい。

問4 この内閣が崩壊する原因となった事件を何というか、答えなさい。

問5 この運動を何というか、5字で答えなさい。

問6 この政党の名前を5字で答えなさい。



問 7 次のうち公職追放処分を受けた人物を下から選び、記号で答えなさい。

ア. 鳩山一郎    イ. 尾崎行雄    ウ. 芦田均    エ. 片山哲

問 8 空欄に当てはまる人物名を答えなさい。

問 9 この疑獄事件を下から選び記号で答えなさい。

ア. 昭和電工事件    イ. 帝人事件    ウ. リクルート事件    エ. 帝銀事件    オ. 三鷹事件

(こ の ペ ー ジ は 白 紙 で す )